

第5回一ノ宮用水生きもの調査報告（速報版）

西田一也（東京農工大学非常勤講師）

1. 目的

2015年4月29日（水、祝）午後に一ノ宮用水において、1）一ノ宮用水に生息する水生生物相の把握、2）これまでに行われた水路改修が生き物と水路環境に与える影響の把握を目的に、16名によって調査を行った。

2. 結果と考察

（1）採集された水生生物

17種類792個体の生き物が採集された（表1）。工事完了直後の1年前（2014年4月）の調査では魚類ではドジョウのみ、全体としても8種類しか採集できなかったことと比べると、改修後の回復が窺える。昨年秋（2014年11月）の調査に比べて個体数は減少したものの、多くの種類が確認できたことから水路内で冬越しできたと考えられる。特に橋下区間（I2）ではコイ（351～445mm）、大型のギンブナ（50～70mm）とドジョウ（35～86mm）が採集されており、大型個体の越冬場・避難場として機能したと考えられる。また、I1ではカワリヌマエビ属、ドジョウ、ギンブナ、I3ではオイカワ、I4ではシオカラトンボ、ドジョウが多いなど、狭い範囲にもかかわらず種組成が異なることも大変興味深い。

表1 水生生物の採捕個体数

No.	種類名	I1	I2	I3	I4	合計	備考
1	コイ		3			3	
2	ギンブナ	6	2			8	
3	オイカワ		3	13		16	
4	カワムツ		1			1	国内外来種
5	タモロコ	5		3	6	14	国内外来種？
6	カマツカ	2				2	都・準絶滅
7	ドジョウ	30	10	7	28	75	国・情報不足種
8	シオカラトンボヤゴ	2	9	20	44	75	
9	イトトンボ類ヤゴ	3		1		4	未同定
10	ハグロトンボヤゴ	1				1	
11	コオニヤンマヤゴ		1			1	
12	アメンボ			2		2	
13	アメリカザリガニ	7	2	5	13	27	国外外来種
14	カワリヌマエビ属	338	10	37	184	559	外来種
15	ミズムシ				1	1	
16	シジミ類				1	1	台湾シジミ？
17	カワニナ類	1			1	2	